

賛成討論

南雲 まさ子 議員

議案第60号令和4年度松田町一般会計補正予算（第7号）について原案に賛成の立場から討論を行います。議案第60号令和4年度松田町一般会計補正予算（第7号）は松田中学校整備事業として総額3億1339万円を投じ松田中学校の環境改善を目的とし、空調機器設置、サッシ改修、エレベーター設置工事、屋上、外壁改修工事などを行うものです。

松田中学校は昭和46年に建設され普通科教室棟は52年が経過していますが、平成30年のコンクリート耐力度診断の結果、机上の計算では100年以上もつことが報告されております。

昨年の夏は記録的な暑さとなり、気象庁は1946年統計開始以降最も高い気温になったことを発表し、今後もこういった猛暑が予想されます。特別教室はじめ、各教室へのエアコンの導入、断熱性に優れたサッシの改修工事により、教育環境の向上が図られます。

昨年4月に改正バリアフリー法が全面施行され、既存の公立小中学校ではバリアフリー化が努力義務とされています。今後エレベーターを必要とする生徒が入学することを考慮し、誰もが学べる環境を整える



エレベーター設置予定箇所外観

ために、エレベーター設置は喫緊の対応が求められます。屋上防水工事、外壁改修工事を実施し校舎の長寿命化を図ることも重要と考えます。令和5年度に予定されていたこの事業を1年前倒しすることにより、町の実質負担額が約4750万円軽減され、有利な条件での事業推進につながります。自主財源の乏しい松田町は非常に厳しい財政運営を強いられており、少しでも有利な条件での事業推進が求められています。是非議員の皆様のご賛同をお願い致しまして、わたくしの賛成討論といたします。

反対討論

井上 栄一 議員

私は、議案第60号令和4年度松田町一般会計補正予算（第7号）について、反対の討論を行います。

松田中学校校舎は老朽化した教育施設です。今回の議案第60号は、大規模改修として空調機設置、エレベーター新設、屋上防水や外壁改修等の工事費を計上した補正予算です。

松田中学校校舎は築52年を経ています。現在では松田中学校の教室は中学校標準の教室面積と比べて狭小であり、様々な教育機器等の設置や体格が大きくなった生徒の机等の配置に余裕がありません。この52年間の教育環境の変化へも対応できていません。他の市や町の中学校と比べて見ても決して進んでいるとは言えないです。ここで国庫補助金や起債によって松田中学校大規模改修事業を行ってしまえば、起債償還が終える28年先まで新築校舎の建替えが出来なくなるということです。是非、このことを皆さんに理解していただきたい。

この松田中学校大規模改修事業の補正予算が可決されるとするならば、私たち議会は起債償還が終えるその先まで責任を負わなければいけません。28年先とは、新築からだて80年間です。コンクリート造の建物の寿命は100年あるそうですが、建物が80年以上持つことと古い設計で建てられたボロボロの校舎・匂いのするトイレ、狭く古い環境の教室で、将来の松田を背負うこれからの子供たちを我慢させなければなくなるということのを是非理解してください。



防水工事を予定している屋上